

パイ

2018年7月発行
VOL.1 夏号



【表紙】「いきいき村」春まつり・設立25周年記念

障がいを持つ人も持たない人も共に生きる——との理念を掲げ続けて25年。盛岡市川目の社会福祉法人「いきいき牧場」の毎年恒例の春まつりが6月16日、現地で開かれました。施設の利用者さんやその家族、後援会会員など約300人が参集。施設職員とともに70人の学生ボランティアがまつりの運営をサポートしました。

【特集】つながる・地域の元気「沿岸編」 …2-3

NPO「エムジョイ」 総合型地域スポーツクラブ
県営栃ヶ沢アパート自治会

岩手県からのお知らせ …………… 4

岩手県社会福祉協議会

ボランティア・市民活動センターからのお知らせ …………… 5

NPO活動交流センターからのお知らせ …………… 6

助成金情報 …………… 7

あなたのまちの市民活動センター・大船渡 …………… 8



特集

つながる・地域の元気「沿岸編」

2018年度パインの特集は「つながる・地域の元気」です。沿岸・県北・県南・県央の4地域を順に集中的に取り扱します。NPO法人やボランティア団体、自治会などの地域コミュニティが対象です。地域に根付いたノンプロフィットな活動を紹介し、そのリーダーたちに話を聞きます。夏号は「沿岸」です。2011年の東日本大震災から7年目、復興はまだ道半ば。被災した方々の心の痛みは、まさにそれぞれでしょう。それでも、地域も、そこに生きる人たちも、前に進みます。来春は宮古一釜石間が再び鉄路で結ばれ、三陸鉄道が「リアス線」として念願の貫通開業予定です。街づくり、地域づくりの現場は今、混沌の時を脱し、自立、発展に向かおうとしています。

また、特集地域に合わせて最終面では「あなたのまちの市民活動センター」を紹介します。



皆で楽しく「ペタンク」。コート上に置いた「サークル」(直径30~50cmの輪)から「ピュット」(直径3cm程度の球)と呼ぶ目標球に各自が鋼鉄の球(直径7~8cm、重さ700g前後)を投げ合って、相手の球より近づけることで得点を競う。



NPO法人としての発足は2014年5月。みやこの「M」に「参加」「楽しむ・遊ぶ」「つながる」の願いを込めて「エムジョイ」。子どもの遊びや運動の機会の創出、高齢者の健康づくりの応援、地域での学び合いなどの活動を展開している。サポーター会員は、個人3,000円、法人・団体10,000円から。連絡先は関口さん(090-2996-2381)

宮古密着 エムジョイ 総合型地域スポーツクラブNPO

目指すは、明るく元気で楽しい街

木々の緑が濃くなり始めた5

月下旬、ウィークデ이의午前10時前。宮古市磯鶏石崎の松原公園にお年寄りが集まり始めた。少し風があるが、陽射しは柔らかい。

誰かが地面に棒で方形のコート2面を描く。この日集まったメンバーは88歳から74歳の7人。そこに42歳の関口健さんⅡ写真右Ⅱが交じって、じゃんけんぽん。2班に分かれ、さらに2人ずつのチームを作ると、さっそくゲーム開始だ。ペタンクである。

週に3回集まっているというだけあって慣れた感じで、和気あいあいムードが漂う。見た目には

「簡単に単純な遊び」と思ったが、いやいやどうして……。膝の屈伸、腕の振り、技術を磨き、計算を尽くした投球や駆け引きで頭も使う。

エムジョイ理事長の伊藤孝さんは84歳。普段はストックを突いているが、プレー中はストック無し。「ちよつと膝が悪いが平気だよ。何しろ奥が深く、面白いから」と穏やかに笑う。真剣さは、平昌五輪で注目を集めたカーリングに負けない。「声を出して、頭を使い、それほど意識しないうちに結構歩くから、健康にも認知症予防にもいいんだよ」と皆が口

をそろえた。

1人で立ち上げ、法人化

関口さんは、エムジョイのマネージャー兼事務局長。震災後、仮設住宅が地域の公園や校庭に建てられ、市民の運動や交流の場が失われていく中で、当時3歳になる長男を連れて「親子で遊ぼうよ」と、仮設巡りを始めた。以前からメンタルスポーツに関心があった。「体を動かすことでふさぎ込みがちな気持ちを吹き飛ばそう」という思いだった。体を動かすと自然に声が出る。気持ちを吐き出せる場づくりだった。

松原公園近くの妻の実家も水を被った。それでも家族の理解があつて活動の輪は徐々に広がっていった。

今は、学校の先生たちの協力も得て、工作教室やハープ石鹸づくり、キャンプなど、スポーツにこだわらないイベントも重ねている。

事務局スタッフは3人。年間予算は800~900万円。いつでも補助金や助成金に頼るわけにはいかない。「薄く、広く、参加者負担も考えていかなければ」と話す。自主財源づくりは、被災地NPOの共通した課題だ。



陸前高田市の災害公営住宅

県営栃ヶ沢アパート自治会

鉄筋コンクリート造8階建ての1号棟、9階建ての2号棟合わせて301世帯。県内最大規模の災害公営団地だ。円形型の平屋建て集会所や駐車場を含む広さは1.9ha。2014年10月着工。2016年8月から入居が始まり、翌2017年3月に自治会設立にこぎつけた。この間、8か月。住民で組織する準備委員会を計8回開き、自治会組織の体制や生活上のルールなどを話し合った。行政主導ではなく、住民主導の準備会は、曲折もあったようだが、結果的には住民主体のコミュニティ形成に向けたスタートとなった。

自治会主催の一斉清掃や納涼祭などとは別に、現在はカラオケ、手芸、麻雀、茶道の4つサークルがほぼ週1のペースで親睦を深めている。自然発生的に始まった毎朝9時からのラジオ体操には30人前後の参加がある。生協や病院などの支援団体による料理教室やお茶っこ会、健康相談会も随時開催されている。

「共助」の意識と体制づくりに当時の岩手大学特任研究員・船戸義和氏の指導・支援が絶大だったようだ。氏の任期満了による昨年度末の退任にあたって、自治会は県・大学に異例の「残留嘆願書」を出したという。

自治会設立までの準備委員会では、意見の衝突もあったという。50を超える仮設団地など様々な地域からの入居世帯は、陸前高田市内が中心だが、お互い顔見知りほとんどお

らず、まず顔合わせから始まった。紺野会長自身、「私は宮城県気仙沼市から来たんだから」と言う。全入居世帯を6ブロックに分け、顔合わせと話し合いを通じて情報を共有する努力が重ねられた。「船戸義和先生のサポートが大きかった」と4人は口を揃える。現時点で約245世帯、450人前後のちよつとしたマンモス団地だ。今も月末の金曜日には団地外の支援者を交えた情報共有会議を、毎月第1火曜日



写真上は紺野会長(左)、河野副会長
写真右は中川・前副会長、下は菅野礼子さん

自治会会長の紺野和人さん(66)、副会長の河野吉郎さん(70)、前副会長の中川聖洋さん(76)、ブロック長で集会所管理人の菅野礼子さん(69)に話を伺った。4人とも大変にお元気で、自治会発足2年目の実情を熱く語る。

「共助」の心で支え合っていきたい



には定例役員会(役員24人)を開いている。住民主体のコミュニティ維持の秘訣は、情報の共有と意思の疎通以外にない。そのことを8か月に及んだ自治会発足前の準備期間で住人たちは学んだ。もちろん課題は山積している。高齢化が最たる難問か。しかし、紺野会長は「日本一の自治会を目指す」と公言する。とにかく元気が



昨年7月の納涼祭。後方は2号棟。手前は集会所(自治会提供)

特定非営利活動促進法が一部改正され、平成30年10月1日から貸借対照表の公告を行うことが必要となります。

貸借対照表の公告の方法

現行の定款の規定と別の方法とする場合は定款変更が必要です。

定款の変更

総会で定款変更の議決をし定款変更届出書を提出してください。

- 1 平成28年法改正により、NPO法人の負担の軽減として、登記事項から「資産の総額」が削除されることとなり、引き続き①法人の透明性を高め、②債権者を保護し、取引の安全と円滑を図るための措置として、貸借対照表の公告が義務付けられました。
- 2 平成30年10月1日以後に作成する貸借対照表について適用されます。
ただし、経過措置により、平成30年9月30日以前に作成した貸借対照表のうち直近の事業年度に係るもの（特定貸借対照表）についても公告しなければなりません。
- 3 平成30年10月1日までは、特定貸借対照表の公告とともに、資産の総額の登記も必要となります。
- 4 NPO法人は、前事業年度の貸借対照表の作成後遅滞なく、定款で定める方法により、これを公告しなければなりません。

次の①～④の方法のうち定款で定める方法により公告しなければなりません。

- ①官報に掲載する方法
- ②時事に関する事項を掲載する日刊新聞紙に掲載する方法
- ③電子公告（法人のホームページのほか、内閣府NPO法人ポータルサイトを利用する方法を含む。）
- ④法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法

特定非営利活動法人劇団ゆうは平成25年3月に認定NPO法人となり、今年3月に認定の有効期間が更新されました。文化芸術活動との出会いと体験、育成と交流事業を県内各地の行政と協働で行っています。公演回数 252回、観劇者数は132,953名となっています。

〈あゆみ〉

平成 3年 11月	設立
平成 9年 4月	自治大臣表彰
平成13年 9月	認証NPO法人
平成18年 11月	岩手県教育委員会表彰
平成24年 9月	岩手県元気なコミュニティ 特選団体認定
平成25年 3月	認定NPO法人
平成26年 12月	文部科学大臣表彰
平成30年 3月	認定NPO法人更新



練習風景(会場 洋野町)

認定NPO法人専門員
による相談窓口

岩手県環境生活部若者女性協働推進室(岩手県庁11階)
TEL:019-629-5337 FAX:019-629-5354
事前相談は火曜日を除く平日 9時から17時まで

シリーズボランティア活動のいろは①～ボランティアを知ろう!～

★ボランティアとは?

ボランティアは、自分の関心のあるテーマ、自分にできることから始められるとても身近な活動です。地域や社会をよりよくしていくことに役立つとともに、活動する自分自身も豊かになります。感動、喜び、充実感、達成感、知識、技術、人とのつながりなど…さまざまなことが得られることが魅力です。

★どんなボランティア活動があるの? さまざまなボランティア活動の一例をご紹介します。

子どもや青少年などを対象とした活動
レクリエーション活動、スポーツ教室やキャンプの支援、手づくり工作、電話相談など

高齢者・障がい者を対象とした活動
高齢者への食事サービス、見守り活動、地域住民との交流の場づくり、社会参加支援(車いすの移動補助など)、点訳、朗読、手話など

災害で被災した方を支援する活動

被災地での活動(家屋の片づけなど被災者の困りごとへの対応、被災者の思いを傾聴する活動など)、被災地外での活動(募金、避難している方への支援)など

安心・安全なまちづくり
防災活動、防犯、交通安全など

自然や環境を守るための活動

地域の清掃活動、森林や海辺の保全、リサイクル活動、動物保護など

国際交流
開発途上国への募金、日本にいる外国人への支援など

芸術・文化

美術館や博物館での活動、伝統文化の継承・普及など

その他
演奏活動、パソコンの設定や操作指導など

各種イベント等の運営スタッフ
スポーツ、まちづくり、地域の交流の場、居場所づくり(サロン活動)への支援など

★すぐに取り組める!自分の地域に身近なボランティア活動

岩手県内各地で、子どもから大人まで誰でも参加できるボランティア活動を集めました。詳しくは、「ボランティア体験inいわて」で検索

ボランティア体験inいわて

検索

「ボランティア体験inいわて」では、主に高齢者、障がい者、子ども、各種イベントなどに関するボランティアをご紹介します。

【笑顔の花咲くはじめての歩 2018ボランティア体験inいわて】
<http://iwate-volunteer.jp/0504experi/index.html>

【お問合せ先】

岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

TEL:019-637-4483

FAX:019-637-7592

「ずっぱりボランティアいわて」

URL <http://iwate-volunteer.jp/>

NPO・市民活動の運営ヒント!～協働編①

社会の多様性が進む中、様々な社会課題を解決するために多様なセクターと協働して取り組むことが、これまで以上に重要になってきます。

■ 協働ってなに?～もう一度確認しましょう!

協働とは、「異種・異質の組織」が、「共通の社会的な目的」を果たすために、「それぞれが持つ資源や特性」を持ち寄り、「対等の立場」で「協力して共に働く」ことを指します。

※認定NPO法人日本NPOセンターによる定義。

協働は、それぞれが単独で行うよりも、協力して取り組んだ方がより良い成果を得ることができると考えたときに行うもので、その方法も一つではありません。

■ 行政とNPO等の協働事例

「協働ってどんなこと? 何をするの?」「考え方はわかったけどイメージできない」「協働に取り組んだけれどちょっとうまくいかなかった」など実際に多く寄せられる声です。そこで、これまで取り組まれた協働の事例を参考にして、これからの協働事業を組み立てていきましょう。

①行政×NPO

・指定管理&委託—公的施設(青少年ホーム、コミュニティセンター等)の管理や事業の実施をNPOを含む民間事業者が行うことで利用者ニーズに対応したきめ細かなサービスを提供が期待でき、稼働率や参加者等の向上につながります。

・提案型補助—地域の課題を解決したり、活性化につながる事業への取組みについてお互いに提案を持ち寄って、話し合いを通じて実行することで協働意識の向上を図るとともに課題の解決を図ります。

例:盛岡市)行政が実施していない公益的な事業でNPOと協働することで高い成果が期待される事業

○内陸避難者の生きがいつくり事業 ○地域版防災マップづくり 他

例:奥州市)市、NPO等が提案を持ち寄り、「協働の提案テーブル」で話し合うことで事業化を目指す

○奥州郷土愛プロジェクト ○田んぼアート ○親子川遊び塾 他

例:北上市)地域活性化につながる事業。補助金申請の前に学習会を開催し、サポートします。

○こどもアートサポート事業 ○父親学級番外編～性教育今昔物語～事業 他

※県内の市町村には、協働のまちづくりについて様々な事業があります。一度、相談してはいかがでしょうか?

N活の講座・相談会の開催

N P O 基礎講座

月毎にテーマを設定し、開催しています。

日時 7月12日(木)「NPO法・定款 入門」 ①14:00～15:30 ②19:00～20:30

8月 9日(木)「NPO法人設立・申請の方法」 ①14:00～15:30 ②19:00～20:30

場所 アイーナ6F 団体活動室1

定員 各回 5名 ※終了後、個別相談会あり

講師 ①久保NPO専門員 ②岩見副センター長

お申込み・お問い合わせ先

NPO活動交流センター TEL:019-606-1760 メール:n-katsu@aiina.jp

N活センター主催イベント(予定含)

ON活フェア(夏) 7月24日(火)～8月8日(水) アイーナ6F団体活動室他
登録団体の活動紹介パネル展示、活動の体験ワークショップの開催

ON活フェア(秋) 11月6日(火)～11月29日(木) アイーナ6F団体活動室他
登録団体の活動紹介パネル展示、活動の体験ワークショップの開催

ONPO等大交流会 12月1日(土) 午後予定 奥州市

※その他、県内各地で出前相談会や研修会を開催する予定です。詳しくは、ホームページ等でご案内しますのでご確認ください。

助成金情報

これから申請できる助成金情報です。
詳細については、実施団体に直接連絡するかホームページをご確認ください。

◇保健・医療・福祉

NPO基盤強化資金助成／「住民参加型福祉活動資金助成」(東日本地区) [支援団体/(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団]

対象団体／下記の①～③のすべてを満たしている団体が対象です。

①募集地域…東日本地区に所在する団体

②助成対象者…5人以上で活動する営利を目的としない団体(法人格の有無は問いません。)ただし、社会福祉法人は除きます。

③助成対象の活動…地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行なう活動

助成内容／本助成対象の活動に関する人件費(助成金額の50%を限度)・物件費

対象になる費用(費目) 人件費、会議費、機材・什器・備品購入費、交通費・通信費、印刷費、工事改修費など(ただし、2020年3月末までに支出した費用にかぎりず。)

●申込期限/平成30年7月20日(金) ●助成金額/1件当り30万円

●参考URL/<http://www.sjnkfwf.org/jyosei/juminsankagata.html>

◇社会教育、まちづくり、環境保全、国際協力・交流

公益財団法人日野自動車グリーンファンド平成30年度助成事業[支援団体/(公財)日野自動車グリーンファンド]

対象団体／自然環境保全に係る活動・研究を行う団体・グループ等

①活動の基盤が日本国内であること。

②団体については、原則として設立2年以上を経過しており、活動実績のあること。

③日本語での応募であること。

対象事業／(1)自然環境保全に資する樹木や草花の植栽の実施

(2)自然環境保全活動の実施

(3)自然環境保全に資する調査や研究の実施

(4)自然環境保全に資する教育や啓発活動の実施

●申込期限/平成30年7月31日(火)※当日消印有効 ●助成金額/総額900万円

●対象期間/平成30年11月1日～平成31年10月31日

●参考URL/<https://www.hino.co.jp/csr/greenfund/promotion.html>

◇まちづくり、環境保全、観光、農山漁村・中山間地

公益信託 大成建設自然・歴史環境基金2018年度[支援団体/大成建設株式会社]

対象団体／国内に拠点を置き、自然・歴史環境の保全活用のために、活動や研究を行う非営利団体で適正な運営、会計処理、情報公開を行っていること。
なお、大学の研究室が応募する場合には、地域社会等と連携した活動であること。

対象事業／国内ならびに開発途上国の自然・歴史環境の保全活用にかかわる活動や研究。

●申込期限/平成30年7月31日(火)※必着 ●助成金額/総額1,500万円 ●対象期間/原則として助成金振込日より1年間。

●参考URL/http://www.taisei.co.jp/about_us/society/kikin/html/gist.html

◇保健・医療・福祉、災害救援

特定活動助成「自然災害支援プログラム」[支援団体/公益財団法人ユニバーサル財団]

対象団体／①被災地でこころのケアのための“傾聴ボランティア”として活動をしている団体

②被災地から県外に避難を余儀なくされた方々を対象に、こころのケアのための“傾聴ボランティア”として活動をしている団体

対象事業／こころのケアのための傾聴ボランティア活動を行っている団体を助成致します

●申込期間/平成30年7月31日(火) ●助成金額/1件当り50万円

●参考URL/<http://www.univers.or.jp/index.php?civilactgrant>

◇人権・平和、NPO支援、その他

Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs(国内助成) [支援団体/パナソニック株式会社]

対象団体／日本国内の貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解消に向けて、持続発展的に社会変革に取り組む意欲のあるNPOを対象とします。

対象事業／第三者の多様な客観的な視点を取り入れた「組織診断」または「組織基盤強化」の取り組みを応援します。

組織課題を明らかにしたうえで組織基盤強化に取り組むための「組織診断からはじめるコース」と具体的な組織

基盤強化の取り組みを応援する「組織基盤強化コース」の2つのコースがあります。

●申込期限/平成30年8月3日(金)※必着

●助成期間/「組織診断からはじめるコース」:2019年1月1日～8月31日(8ヶ月) ●助成金額/1件当り100万円(1年目)

●助成期間/「組織基盤強化コース」:2019年1月1日～12月31日(1年間) ●助成金額/1件当り200万円(毎年)

●参考URL/https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf/npo_summary/2018_recruit.html

◇保健・医療・福祉、子どもの健全育成

SBI子ども希望財団 施設充実に係る寄附申請[支援団体/公益財団法人SBI子ども希望財団]

対象事業／「児童養護施設」における「地域小規模児童養護施設」の新設、または「分園型の小規模グループケア」の新設を対象とさせていただきます。

●申込期限/平成30年8月31日(金)※必着 ●新設時期/平成30年5月1日～平成31年4月30日の開設を予定しているもの ●助成金額/200万円 ●

参考URL/<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan/grant/index.html>

◇環境保全

第13回「みどり香るまちづくり」企画コンテストの実施[支援団体/環境省]

対象団体／地方公共団体、民間企業、学校法人、商店会、町内会等の住民団体やNPO等の各種団体、個人等

※植栽場所を確保していること(植栽場所を自ら所有していない場合は、企画において植栽場所とする土地の所有者・管理者等の関係者の同意を得ていること)が必要となります。また、植栽後の維持管理体制が明確であることも必要となります。

対象事業／かおりの樹木・宿根草等草花を原則として30本以上用いて、街区や近郊地区等で「みどり香るまちづくり」を演出する企画を募集します。

●申込期間/平成30年9月14日(金) ●上限金額/1件当り100万円

●参考URL/<http://www.env.go.jp/press/105460.html>

◇保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、学術・文化・芸術・スポーツ、環境保全、災害救援、地域安全、子どもの健全育成、経済活動、農山漁村・中山間地、その他

地域活動団体への助成「生活学校助成」[支援団体/(公財)あしたの日本を創る協会]

対象団体／①身近な地域や暮らしの課題解決に取り組む地域活動団体

②全国的生活学校が連携して行う全国運動に参加できる団体

対象事業／近所の一人暮らしのお年寄りや子どもたちの見守り、ごみの収集や資源リサイクル活動など、身近な地域や暮らしの問題に取り組むグループの皆さま、生活学校に参加してみませんか。生活学校としてご参加いただいた地域活動団体には、当協会から、活動経費の助成や、地域づくり情報誌「まちむら」の提供をいたします。

■生活学校とは？

身近な地域や暮らしの様々な課題について、学び、調べ、話し合い、他のグループとも協力し合いながら、実践活動のなかで解決し、生活や地域や社会のあり方を変えていく、そんな活動に取り組むグループです。

●申込期限/平成30年9月28日(金) ●上限金額/1件当り17万円

●参考URL/<http://www.ashita.or.jp/sg2.htm>

あなたのまちの市民活動センター

大船渡市市民活動支援センター

——サン・リア2階



ホームページ 大船渡市市民活動支援センターで検索 ofunatocity.com



DATA...

大船渡市市民活動支援センター
窓口 月～金10:00～18:00
問い合わせ0192・47・5702
Mail shimin@ofunatocity.jp
大船渡市盛町字町10-11
サン・リア2階 〒022-0003

大船渡で活動したい、
大船渡のことを聞きたい——と
いう方は迷わずご連絡ください。
窓口で対処できなくても、
必ずつなぎます。

「つなぐ」を大切に、自主財源探しも

その名の通り、市民活動の支援が最大のミッションだ。団体ネットワークの構築、情報の見える化、相談窓口対応、交流・協働のサポート、スキルアップ支援などを掲げる。情報の「みえる化」は、ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターなどを活用して、窓口は広く、ハードルは低くを実践している。

沿岸初の官設民営

岩手県沿岸地域初の「官設民営型」常設センターとして、2013年9月にスタートを切った。今年度から、新たに設立されたNPO法人「おおふなと市民活動センター」が業務委託で運営している。法人の理事長であり、支援センターのセンター長でもある木下雄太さん(36)Ⅱ写真右Ⅱは「改めて初年度だと考えています。大船渡が活気づくためには市民が主体的に活動し続けていくことが必要。その方々が動きやすくしていくこと、そこへの働きかけが役目だと考えています」と話す。

までは市と市社会福祉協議会、NPOの夢ネット大船渡、さんさんの会、みちのくふる里ネットワークで組織する協議会が運営主体だった。震災前から活動実績のある市民団体、震災後に立ち上がったNPO、外から駆け付けた救援部隊と行政が同じテーブルに着いてのスタートだった。復興を目指し、調整機能を果たしてきた。その活動は、地道に、着々とブラッシュアップされている。そして今、積み上げてきた基本的な活動をよりアクティブに継続しながら、一方で「中間支援組織だからと言って、つなぐ、支えるだけでなく、主体的に動いても良いのではないか」と、木下さんは言う。

地域活性化のため、企業などとの協働を視野に入れている。地元企業や他地域のNPOとコラボレーションして、京都府の南山城村(みなみやましろむら)から講師を招いて講演会を開いたこともある。自主財源を捻出したい。仲間や支援者の知恵と協力を集約していく覚悟だ。震災前はアパレルショップや居酒屋バーで働いていたという木下さんの手腕が注目される。

編集後記

陸前高田の県営柵ヶ沢アパート自治会の取材、ちよつと感動的でした。というか、圧倒されました。幹部の皆さん、とにかくパワフル!このパワーが、ややかしい課題も「かして」いるな」と感じました。宮古エムジョイのペタンクのメンバーも、実に楽しそう。お年を感じさせません。

前年度、パインの特集は、若者よそ者にインタビュしました。今年度は、熟年・地域の団体に取材します。次号は「県北」です。乞う、ご期待を。(N+)

NPO活動交流センターのHPでは、様々なイベント情報や助成金情報を掲載しています。

みなさまからの市民活動情報や「パイン」への取材依頼もお寄せください。

URL: <http://www.aiinanpo.org/> E-mail: n-katsu@aiina.jp

アイーナ N活

検索

Twitter フォローお願いします!!!
<https://twitter.com/aiinaNPO>

Facebook いいねをお願いします!!!
<https://www.facebook.com/aiinaNPO>